川西小学校だより

平成 31 年 1 月 31 日
N0.11

台湾の小学生と交流しました　1/16　５年生

台湾台北市松山区民族国民小学校と民生国民小学校計の４～６年生の児童22名と先生方３名が修学旅行の途中、本校を訪れました。２年前も本校に台湾のドッジボールクラブの児童が訪れています（管理棟中央廊下に大きな凧が飾ってありますが、その時いただいたものです。）ので、これで交流は２回目です。今回も５年生が歌やリコーダー奏で交流したり、日本の遊びを一緒に行ったりして、楽しく活動しました。給食を一緒に食べ、掃除も川西小の５年生がやさしく教えながら一緒にしました。

「言葉は通じなくても、身振り手振りで通じる、私たちが楽しく感じることは台湾の子ども達も同じ」など体験を通して学んだ５年生でした。

最初は言葉があまりわからなかったのですが、通じない部分は自然に体が動き、大体わかってきました。でもやっぱり、体で表現してもわからないことが何度もありました。掃除のチャイムはなっても、理解できないし、「なんだろう」と思うだけで動いてくれませんでした。でも私はこういうふれあいからたくさんの友達ができていく気がします。今度は私が、台湾や違う国などへ行ってその国の伝統を見たいです。（NS さん）

ぼくは、ペアの人と言葉が通じないからジェスチャーで教えたら、コマもけん玉もできた人がいて、そこがすごくうれしかったです。いい経験になってよかったし、すごく楽しかったです。（0S さん）

短い時間だったけど、交流体験でいろいろなことができてよかったと思いました。言葉が通じなくてもわかるってすごいなあと思った。（NK さん）

２月の主な予定

日	曜日	行事予定等
2/1	金	
2	土	アンサンブル交歓会　金管バンド出場
3	日	
4	月	
5	火	節分集会、来入児一日入学 PTA 代議員会
6	水	３年創造館学習
7	木	
8	金	ICT 支援授業（1年、３－1） シャボン玉タイム
9	土	
10	日	
11	月	建国記念の日、ノーメディアデー
12	火	学校運営協議会
13	水	児童会長選挙、集金日
14	木	
15	金	１，２，３年参観日
16	土	
17	日	
18	月	
19	火	５年等の学習
20	水	
21	木	４，５，６年参観日、４年命の学習 地区児童会
22	金	シャボン玉タイム
23	土	
24	日	
25	月	
26	火	卒業式練習
27	水	児童会準備委員会
28	木	ICT 支援授業（5年、３－2）

PTA も引き継ぎの時期ですが、子ども達も児童会の引き継ぎの時期となりました。

選挙公示がされ、候補者が決まり、教室訪問や応援が始まります。5 年生が 6 年生からバトンを受け継ぐのもあとわずか。この時期は、ちょっぴり背伸びして、自分の殻を打ち破る経験ができるときでもあり、クラスの団結力が強まるときでもあります。

そして 6 年生は卒業文集を書き上げ、今、卒業制作の時計に取り掛かりました。あと登校日も 30 日となりました。小学校 6 年間を締めくくるまとめの日々、健康には十分注意して、有終の美を飾ってほしいです。

＜お知らせ＞

① 15 日(金)、21 日(木)は今年度最後の**参観日**です。お子さんの活動の様子をご覧になり、1 年間の成長を確かめてください。各学年の計画がありますので、詳細は学年通信等をご覧ください。

② 30 年度のＰＴＡの役員の皆様、1 年間ありがとうございました。今年度は不審者対策やブロック塀の問題があったり、猛暑でプール開放があまりできなかったりしました。また運動会のテント張りや片付け等でも大変お世話になりました。一斉集団登校を推進するにあたっても多大のご協力をいただきました。感謝申し上げます。代議員会は**5 日(火)**です。今年度の反省を行います。よろしくお願いします。
また、各クラスや地区で来年度の役員を選出していただきありがとうございました。**3 月 7 日（木）に引き継ぎ**を行います。後日、出席依頼の通知をお渡しします。新旧役員の皆様、よろしくお願いします。

③ 今年度最後のノーメディアデーは 11 日です。2 回目のふり返りカードから、あらかじめ目標や計画をたてて臨んだご家庭が増えていることがわかります。子ども達自身の「セルフ・コントロール」とお家の方の「ペアレンタル・コントロール」の重要性を改めて感じる回答結果となっています。

【子ども達の感想より】
「家族の会話が増えて楽しかった。」「ゲームがなくても他の遊びで楽しめた。」「目が疲れなかった。こういう日がたまにあってもいいと思った。」「少しテレビを見たり、ゲームをしてしまった。なかなかメディアからはなれられない。」

【お家の方の感想より】
「家族の会話が増え、楽しい時間が過ごせた。親としてもよかった。」「テレビをラジオに代えて視覚の刺激を減らした。メディアの危うい部分について話をすることができた。」「親自身がメディアとの関わり方を考える良い機会になった。」「ゲーム等がなくても時間を過ごせるような、何かやることを見つけてほしい。」